



HITACHI
Inspire the Next



日立の環境配慮型ストレージ 導入編：カーボンニュートラル実現に向けた はじめの一歩

2023年 5月
株式会社 日立製作所
クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット
ITプロダクツ統括本部

気候変動リスク関連の情報開示への取り組みが、 企業にとって重要な経営課題に



COP26*¹にてパリルールブックが完成

- 気温上昇を1.5℃に抑える努力をすること
- 経過点である2030年に向けた**気候変動対策**と2050年頃の**カーボンニュートラル達成**



東証プライム市場

- 上場には**TCFD*²**または**同等の情報開示**が必要



企業に対し、**気候変動リスク**に対する管理体制や経営戦略といった情報の開示を求めるタスクフォース



*1: Conference of the Parties26 (第26回気候変動枠組条約締約国会議)

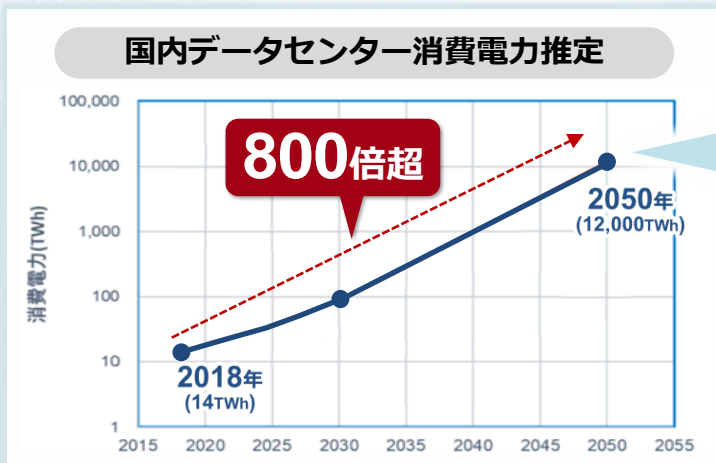
*2: Task Force on Climate-related Financial Disclosures

参照：2022年1月10日 日本経済新聞 電子版



データ利活用への期待 事業活動・社会課題への貢献

- ビジネスモデルの創造
- 業務プロセスの革新
- 見える化・分析・自動化による効率向上

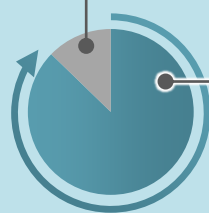


ITインフラが直面している課題 データドリブンと気候変動対策の両立

- 柔軟なデータ連携・利活用を実現するハイブリッドクラウド環境の整備
- 利用拡大に伴い消費電力が増大するITインフラの環境負荷を低減

内訳

空調、他



**IT機器が8割超
対応が急務**

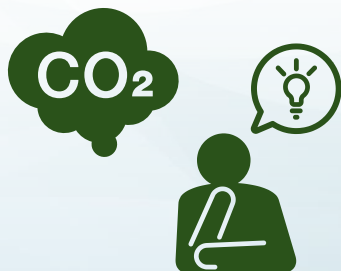
出典：国立研究開発法人科学技術振興機構低炭素社会戦略センター
『情報化社会の進展がエネルギー消費に与える影響 (Vol.4)』
2022年2月を元に(株)日立製作所にて作成

カーボンニュートラル達成までの削減計画を策定する

STEP 1

現状把握・目標設定

CO₂排出量の現状を把握し、排出量削減目標を設定。



STEP 2

削減計画の策定と実行

削減目標にコストや実現性を加味し、削減計画を策定。運用ガイドラインや、排出量を監視する仕組みを整備し、進捗を管理。



STEP 3

カーボンニュートラル前提の事業推進

カーボンニュートラルを前提に、事業拡大や新規事業参入を実施。再生エネルギーの利用推進。



削減計画の継続的な推進と進捗管理するサイクルを整備する



CO₂排出量の見える化

- 消費電力・CO₂排出量などの情報収集・見える化
- 見える化サービス・ツールなどの活用



CO₂排出量データの活用

- 削減目標・削減計画の策定
- 情報開示への対応
- 削減計画へフィードバック



CO₂排出量の削減計画の実行

- ガイドラインの実行
- 進捗の管理



CO₂排出量削減計画の実行準備

- 省エネ機器・サービスの導入
- 運用ガイドラインの作成

CO₂排出量削減を推進しつつ、再エネ利用に向けた取り組みが必要

CO₂排出量の削減



CO₂排出のない再エネ利用



カーボンニュートラル達成に向けた継続的な取り組みを、 さまざまなフェーズで支援いたします



CO₂排出量の見える化

- ・ストレージ、サーバ、スイッチ、システム単位

順次販売開始



CO₂排出量の削減計画の 実行支援

計画中



CO₂排出量データの活用支援

- ・環境報告レポート作成支援
- ・削減計画の策定支援

計画中

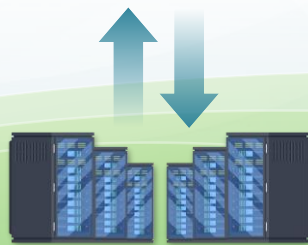
EverFlex
from Hitachi



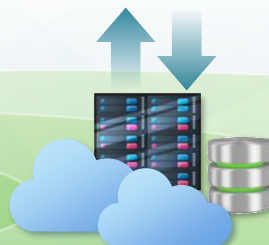
環境配慮型IT製品

- ・サービスの提供

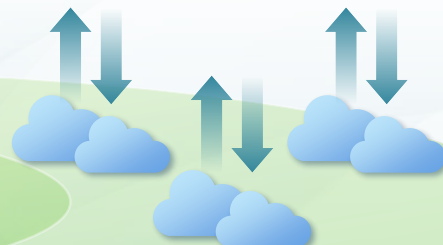
提供中・
順次強化



オンプレ



クラウド



脱炭素をめざす“エコオフィス”、事業所見学にお越しく下さい。
取り組みのご紹介、有識者とのディスカッションをご用意しております。

》 オフィス(横浜事業所)見学会のポイント

事業所

- 太陽光パネルや、自然光を取り入れる吹き抜けなど、エコ事例をご紹介します。

建屋内室温の見える化

- 建屋内の室温を見える化しコントロール。
“快適な空間”と“エコ”を実現。



職場

- 働きやすさを考慮した多くの事例をご紹介します。



サーバールーム

- 消費電力、発熱が多いため、さまざまな施策を実施。
- IT機器CO₂排出量が見える化。



お申込み

ご利用・ご予約については、当社営業にお問い合わせください。当社営業への連絡先が不明な場合は、右記お問い合わせフォームからお問い合わせください。事業所見学の際には、当社営業を同行させていただくことが必須となります。予めご了承ください。

お問い合わせ

株式会社日立製作所
クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット
ITプロダクツ統括本部 環境活動推進室
お問い合わせフォーム：
<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR>



ストレージの製造現場、事業所見学にお越しく下さい。
取り組みのご紹介、有識者とのディスカッションをご用意しております。

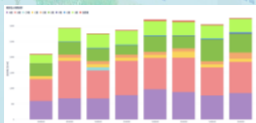
製造現場(神奈川事業所)見学会のポイント

製造現場

- セル箱のベンダーへの貸し出しによる梱包簡略化などの事例をご紹介します。
- AI活用で検査時間の短縮を実現し、省電力によるCO₂削減も。

事業所の電力見える化

- 事業所全体の総電力を見える化し、ピーク電力抑制、ムダの削除に活用。



環境配慮型ストレージ

- 製品としての環境に考慮した機能や、関連ソリューションをご紹介します。
- 「ものづくり」として現場での“品質の作りこみ”もPR。



現場での環境への取り組み

- パレットのリユース化、梱包材のペーパー化など、取り組んでいます。




お申込み

ご利用・ご予約については、当社営業にお問い合わせください。当社営業への連絡先が不明な場合は、右記お問い合わせフォームからお問い合わせください。事業所見学の際には、当社営業を同行させていただくことが必須となります。予めご了承ください。

お問い合わせ

株式会社日立製作所
クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット
ITプロダクツ統括本部 環境活動推進室
お問い合わせフォーム：
<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR>





**日立ストレージ事業は、
環境負荷の低減に取り組み、
脱炭素社会の実現に貢献します。**

政府、投資家、取引先に対して 脱炭素化に取り組んでいる企業であると示すメリット



ESG金融における 企業価値向上

- 環境に配慮した事業を行っていることを投資家にアピールすることで、資金調達の機会を獲得する
- 気候変動リスクを回避するための投資の引きあげを防ぐ



取引先への対応力による ビジネスチャンスの獲得

- 脱炭素経営に取り組む取引先からの要請に対応し、機会損失を回避する
- 脱炭素経営への対応力と信頼性により、他社優位性を築く

自社の企業価値向上と、ビジネスチャンスの獲得

サプライチェーンでCO₂削減するのは、自社の努力だけでは達成できない

調達パートナーの業務範囲

顧客企業の業務範囲

上流

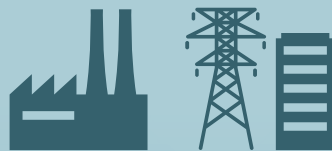
Scope3



原材料 輸送・配送など

自社

Scope1, Scope2



燃料の燃焼 電気の使用

下流

Scope3



製品の使用 製品の廃棄など

Scope1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3 : Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

各企業が協力しあってエコシステム全体で 排出量の削減に努めることが必要不可欠



[🔗](https://www.hitachi.co.jp/products/it/digital_infra/carbonneutral.html) カーボンニュートラル | デジタルITインフラソリューション

https://www.hitachi.co.jp/products/it/digital_infra/carbonneutral.html

END

**日立の環境配慮型ストレージ
導入編：カーボンニュートラル実現に向けた
はじめの一步**

株式会社 日立製作所
クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット
ITプロダクツ統括本部



Hitachi Social Innovation is
POWERING GOOD